

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公表番号】特表 2006-525836 (P2006-525836A)

【公表日】平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【年通号数】公開・登録公報 2006-045

【出願番号】特願 2006-506231 (P2006-506231)

【国際特許分類】

A 6 1 L 15/16 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 15/01

A 6 1 F 13/00 3 0 1 A

A 6 1 F 13/00 3 0 1 G

A 6 1 F 13/02 3 1 0 A

A 6 1 F 13/02 3 4 0

A 6 1 F 13/02 3 1 0 J

A 6 1 F 13/02 3 1 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 23 日 (2007.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

創傷からの浸出液を吸収するゲルクッション構造を形成する褥瘡治療用創傷被覆材の製造のための、ゲル形成繊維を含む吸収層の使用。

【請求項 2】

該吸収層が、圧迫下に創傷から出る浸出液を吸収および保持することができることを特徴とする請求項 1 の使用。

【請求項 3】

該吸収層が、アルギン酸、ビスコース、修飾されたセルロース、セルロース、ポリエステル、ポリプロピレンおよびその共重合体、ペクチン、キトサン繊維、ヒアルロン酸繊維、または他の多糖類繊維、もしくはゴムから誘導される繊維のゲル形成繊維を含むことを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 の使用。

【請求項 4】

該創傷被覆材が、粘着層を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれかの請求項の使用。

【請求項 5】

該粘着層が、該吸収層を覆うことを特徴とする、請求項 4 の使用。

【請求項 6】

該粘着層が、該吸収層の周縁に粘着性を形成することを特徴とする、請求項 4 または請求項 5 の使用。

【請求項 7】

該粘着層が、該創傷被覆材の該創傷接触表面を形成することを特徴とする、請求項 5 の

使用。

【請求項 8】

該粘着層が、開口されることを特徴とする、請求項 7 の使用。

【請求項 9】

該創傷被覆材が、浸出液を吸収するとき、キルティングされたゲルクッション構造を形成することを特徴とする、請求項 8 の使用。

【請求項 10】

該粘着層が、該創傷に対する該被覆材の粘着性を維持しながら、浸出液および腫れを吸収することができることを特徴とする、請求項 5 から 9 のいずれかの使用。

【請求項 11】

該粘着層が、1 またはそれ以上の水溶性ハイドロコロイドおよび 1 またはそれ以上の低分子量のポリイソブチレンの均一ブレンドを含むことを特徴とする、請求項 5 から 10 のいずれかの使用。

【請求項 12】

ゲル形成繊維を含む吸収層を有する創傷被覆材を含む褥瘡の治療剤であって、該ゲル形成繊維が該褥瘡からの浸出液を吸収して、ゲルクッション構造を形成するように調整されることを特徴とする治療剤。

【請求項 13】

該吸収層が、圧迫下に創傷または褥瘡から出る浸出液を吸収および保持することができることを特徴とする、請求項 12 の治療剤。

【請求項 14】

該吸収層が、アルギン酸、ビスコース、修飾されたセルロース、セルロース、ポリエステル、ポリプロピレンおよびその共重合体、ペクチン、キトサン繊維、ヒアルロン酸繊維または他の多糖類繊維もしくはゴムから誘導される繊維のゲル形成繊維を含むことを特徴とする、請求項 12 または請求項 13 の治療剤。

【請求項 15】

該創傷被覆材が粘着層を含むことを特徴とする、請求項 12 から 14 のいずれかの治療剤。

【請求項 16】

該粘着層が、該吸収層を覆うことを特徴とする、請求項 15 の治療剤。

【請求項 17】

該粘着層が、該吸収層の周縁に粘着性を形成することを特徴とする、請求項 15 または請求項 16 の治療剤。

【請求項 18】

該粘着層が、該創傷被覆材の該創傷接着表面を形成することを特徴とする、請求項 16 の治療剤。

【請求項 19】

該粘着層が、開口されることを特徴とする、請求項 18 の治療剤。

【請求項 20】

該創傷被覆材が、浸出液を吸収するとき、キルティングされたゲルクッション構造を形成することを特徴とする、請求項 19 の治療剤。

【請求項 21】

該粘着層が、該創傷に対する該被覆材の粘着性を維持しながら、浸出液および腫れを吸収することができることを特徴とする、請求項 15 から 20 のいずれかの治療剤。

【請求項 22】

該粘着層が、1 またはそれ以上の水溶性ハイドロコロイドおよび 1 またはそれ以上の低分子量のポリイソブチレンとの均一ブレンドを含むことを特徴とする、請求項 15 から 21 のいずれかの治療剤。